

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
基本事業 04 公共交通網の充実
主管課： 都市計画課
関係課： 都市計画課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。
------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1日当たりバス利用者数 (人) 都市計画課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
3,575.00	4,046.00	4,792.00	4,508.00	5,300.00	3,900.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度と比較して、746人増加しています。 (原因) 路線バスの利用者数が増加しています。これは、ICカードの導入による利便性の向上が図られたことによるものと思われます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

1日当たり鉄道利用者数 (人) 都市計画課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
37,497.00	43,970.00	45,032.00	45,900.00	46,800.00	40,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度と比較して、1,062人増加しています。 (原因) 人口増加とともにつくばエクスプレス・関東鉄道常総線の利用者も増えていきます。松並青葉地区への入居者が増加傾向であることから、さらに利用者数の増加が見込まれます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度（バス） (%)					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
23.30	25.50	23.90	25.00	26.00	30.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度と比較して、1.6%減少しております。 (原因) 市民が思う不便さを解消し、市民ニーズ満たせるような公共交通網の検証やサービス向上を図っていく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度（鉄道） (%) 都市計画課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
74.00	73.00	72.90	74.00	75.00	76.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度と比較して、0.1%減少しております。 (原因) 市民の鉄道に対する満足度向上に引き続き、市民が思う不便さを解消できるような取組を鉄道会社と調整していく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	92,038	94,660	95,252	66,929	64,787
人件費	1,460	12,284	15,585	0	0
トータルコスト	93,498	106,944	110,837	66,929	64,787

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づき、モコバス路線を見直すため、バス事業者や地域住民等との協議を行い、平成31年4月から運行するモコバス路線の再編を行いました。 また、新たな交通手段として、デマンド乗合交通を導入の為、市内タクシー事業者との交渉等を行い平成31年4月からの開始に向け準備を行いました。 今回の再編は、一年間の実証実験とし、その中で集計した利用実態等を基に、効率的で利便性の高い「将来にわたって持続可能な公共交通網の形成」を目指します。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	より向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]